

## F-35のアジア太平洋地域における維持・整備拠点

- 米国政府は、F-35について、「北米・欧州・アジア太平洋」地域において、機体・エンジンを中心とした整備拠点(リージョナル・デポ)を設置することを構想。平成26年12月、アジア太平洋地域におけるF-35の整備拠点(リージョナル・デポ)を日本及びオーストラリアに設置することを決定。

(機体のリージョナル・デポ:平成30年初期までに日本及びオーストラリアに設置)

エンジンのリージョナル・デポ:平成30年初期までにオーストラリアに設置し、追加的な所要に対応するため3~5年後に日本にも設置)

- 日本のリージョナル・デポにおける具体的な整備の対象機や整備の作業内容等については、米国政府等と調整。我が国としては、平成30年度にリージョナル・デポの立ち上げを実施できるよう、三菱重工業・小牧南工場における必要な施設改修や整備機材の確保を行う予定。

### ◆リージョナル・デポのイメージ

